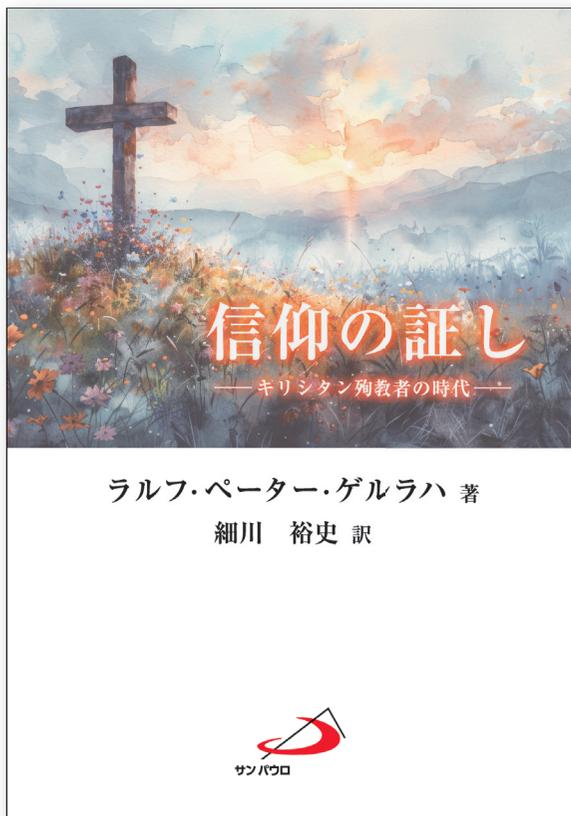


8月5日(月)発売予定

 **サンパウロ** 新刊案内



推薦

カトリック大阪高松教区大司教

トマス・アキナス 前田万葉 枢機卿

信仰の証し —キリシタン殉教者の時代—

ラルフ・ペーター・ゲルラハ 著 細川 裕史 訳

無数のキリシタンの血が流された長崎・西坂の丘。そこに立った一人のドイツ人信徒の衝撃と疑問は、その後の彼の人生を変えた。

「なぜキリシタンが栄えた時代が、あれほど短かったにもかかわらず、多くの信徒を獲得できたのか。なぜ彼らは想像を絶する責め苦と、死の恐怖にも関わらず信仰を守り抜いたのか」。その答えを求めて著者は、日本の各地を訪ね、多くの人たちに取材し、本書をまとめ上げた。

著者の願いは、「キリシタン時代の宣教と、日本の殉教者たちの不屈の信仰をヨーロッパの人たちにもぜひ知ってほしい。」ことにある。本書は、2019年にドイツで出版された『DAS LICHT DES GLAUBENS』（信仰の光）の日本語版である。

著者紹介 ラルフ・ペーター・ゲルラハ

1973年、当時の東ドイツ・エルスターヴェルダの出身。
教会オルガニスト、空手の指導員、税務署勤務、重度障がい者の個別介護、
ネット販売会社社長など多様な業種に従事。
現在、カトリック司祭になるためドイツのレーゲンスブルク教区の神学校で勉強中。

訳者紹介 細川 裕史 (ほそかわ ひろふみ)

1979年、広島県出身。阪南大学経済学部准教授。
専門は社会言語学・ドイツ語史。
ドイツのキール大学でDr. phil. (哲学博士号) を取得。

• B6判 • 256頁 • 並製 • 定価 1,980円 (本体1,800円+税) • ISBN978-4-8056-3926-9 C0016